

事例から探る 変化に強いシステム構築の最適解

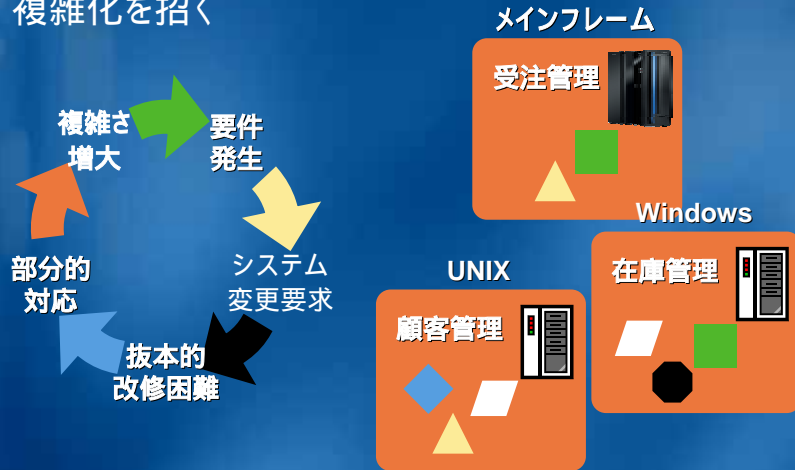
2006年7月21日
マイクロフォーカス株式会社
<http://www.microfocus.co.jp>

Agenda

- ➔ なぜシステム基盤の最適化が必要か
 - 複雑化と乱立
 - SOAによる最適化
 - レガシーシステムとSOA
- COBOLがなぜ重要か
- ケーススタディ

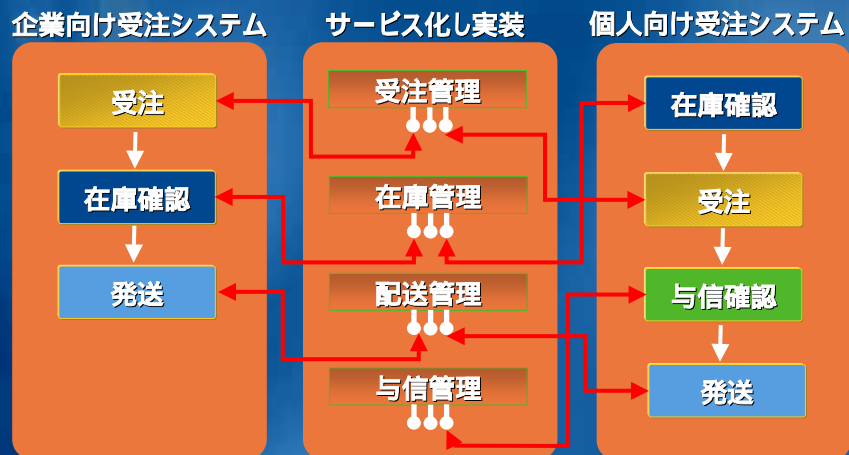
複雑化と乱立

- 新たな要件に対応するためにシステムの乱立が進み、複雑化を招く



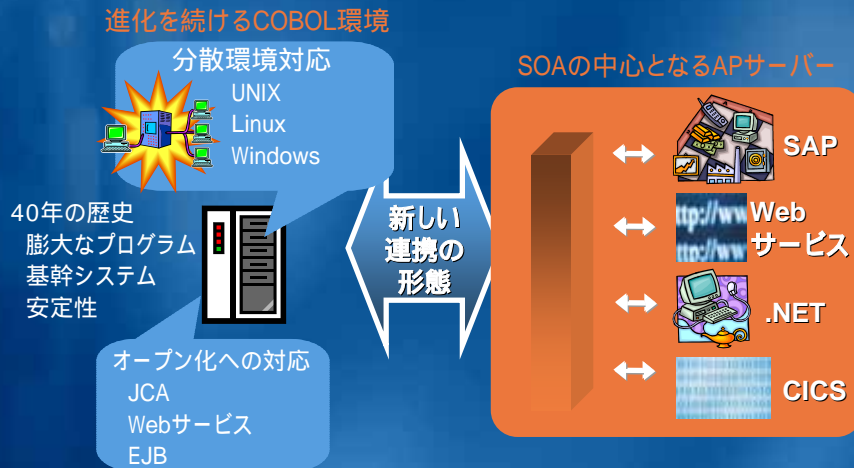
SOAによる最適化

- 目的や環境が変わっても使えるように機能を実装



レガシーシステムとSOA

- 既存の投資から価値を取り出す



Agenda

- なぜシステム基盤の最適化が必要か
- ➔ ● COBOLがなぜ重要か
 - なぜ再利用が必要か
 - COBOLはオープンで新しい
 - 強力なビジネスロジックをどこからでも
- ケーススタディ

なぜ再利用が必要か

- COBOLプログラムは財産
 - 業務システムの70%はCOBOLで記述
Gartner
 - 16,000社の大企業で、開発言語として採用
 - 1,500億行、投下された資金が5兆ドル
米IBMの推測
- ノウハウ、人材の活用
 - メインフレーム上の大規模システムの開発、保守に携わってきたCOBOLプログラマーの活用

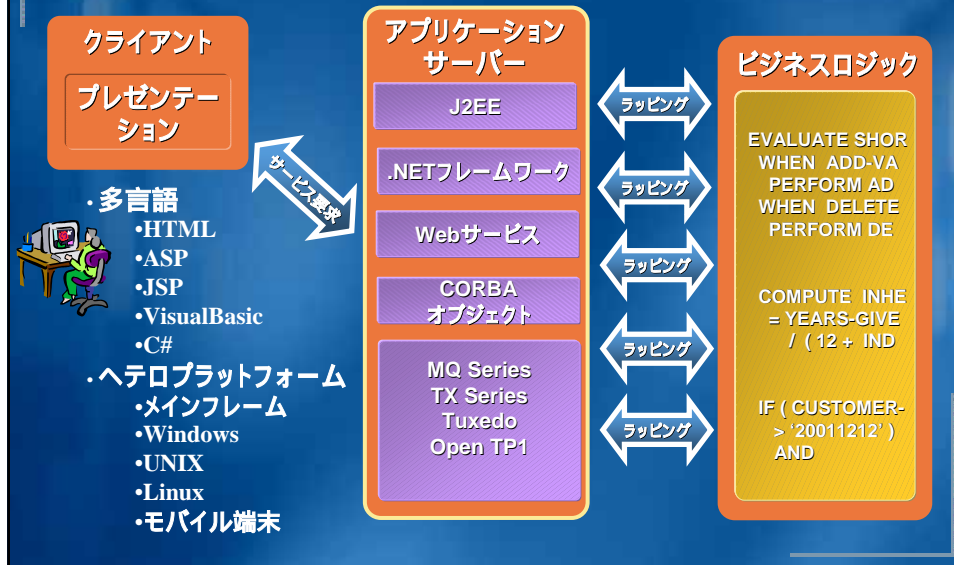


COBOLはオープンで新しい

- 信頼性
 - 言語仕様を世界の標準化委員会が策定
 - 互換性を維持しながらプログラム言語の進歩に対応
- 実績
 - 過去40年間に亘って大規模システムを構築
 - 大規模システムの開発方法論として安定
- 最適
 - ビジネス処理を記述するための機能をサポート
 - 索引編成ファイル、ソートマージ、帳票、金額編集
- 将来性
 - COBOL2002規格の制定
 - オブジェクト指向などプログラム言語の進歩に積極的に対応



強力なビジネスロジックをどこからでも



Agenda

- なぜシステム基盤の最適化が必要か
- COBOLがなぜ重要か
- ➔ ケーススタディ
 - 総合証券システム 「THE STAR」
野村総合研究所
 - 営業支援システム 「AtlasNavi」
AIGスター生命、クリス
 - 販売管理システム 「GENESIS」
モスフードサービス、電通国際情報サービス

総合証券システム 「THE STAR」 野村総合研究所

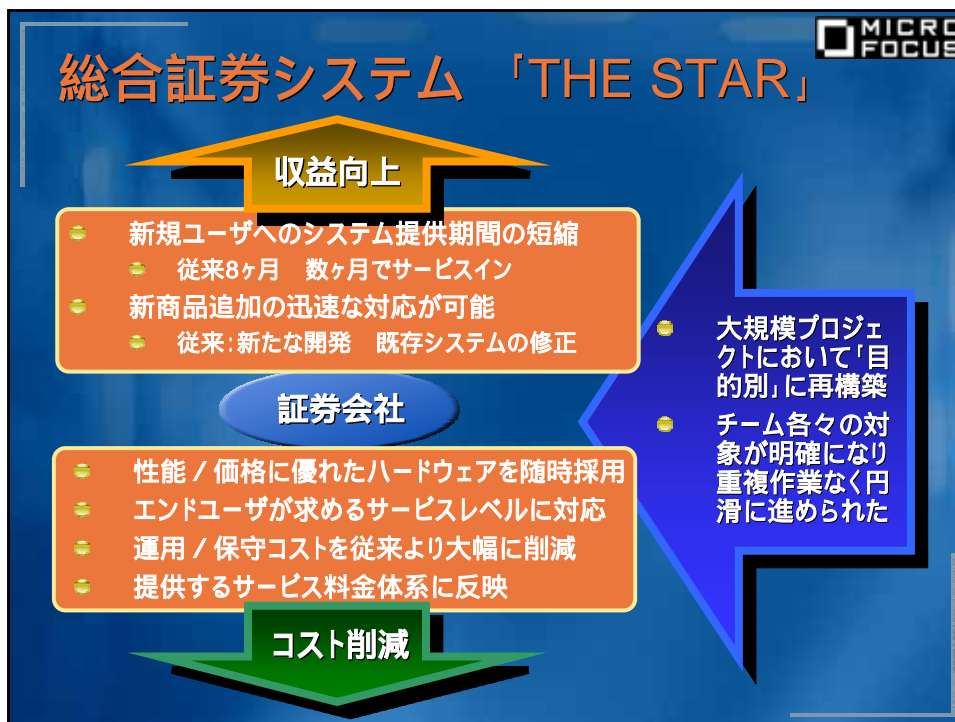
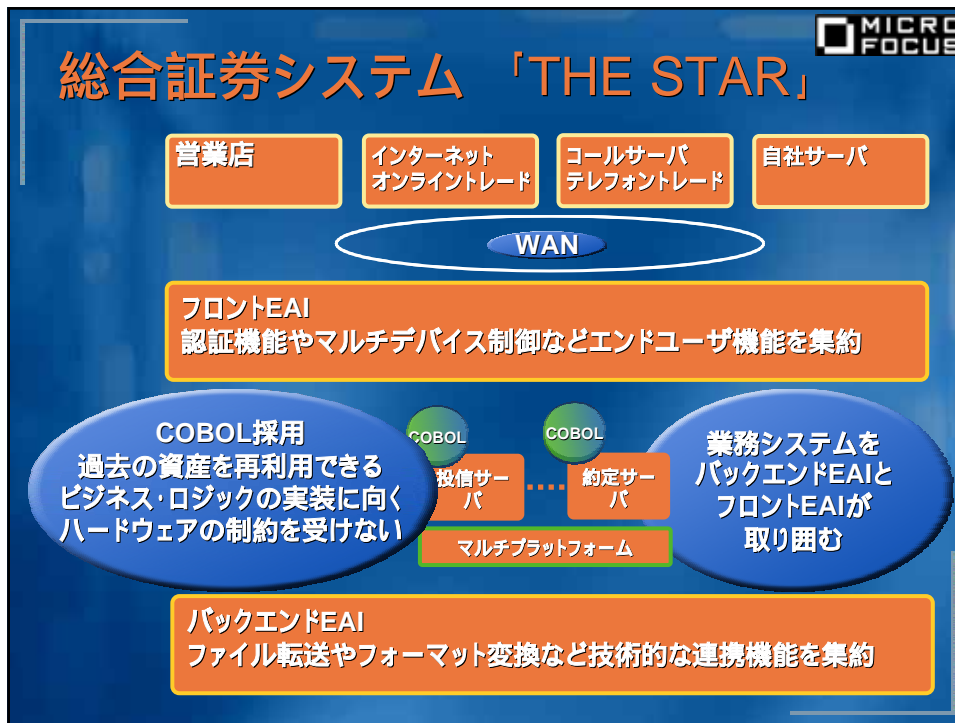
- 野村総合研究所が提供する20年以上の歴史を持つ総合証券バックオフィスシステム
- 約3年で変化に強いアーキテクチャに作り変え
 - 金融商品や顧客の増加 / 多様化
 - インターネットなど販売チャネルの多様化



総合証券システム 「THE STAR」

- 既存システム
 - 長い年月をかけて開発された2万キロ・ステップを超えるプログラム
 - ダム端末をメインフレームにつなぎ商品ごとに業務支援サービス提供
- 開発ポイント
 - 商品別業務プロセスを「業務目的別」に再構成
 - 連携すべきシステムをEAIを介して疎結合
 - 実装技術をマルチプラットフォームに対応





営業支援システム「AtlasNavi」 AIGスター生命、クリス

Challenge

- 全世界のAIGグループでメインフレームを共有利用
- メインフレームは全世界での全体最適を考慮して運用
- 日本の顧客満足度向上のため、稼動時間、稼働日を延長

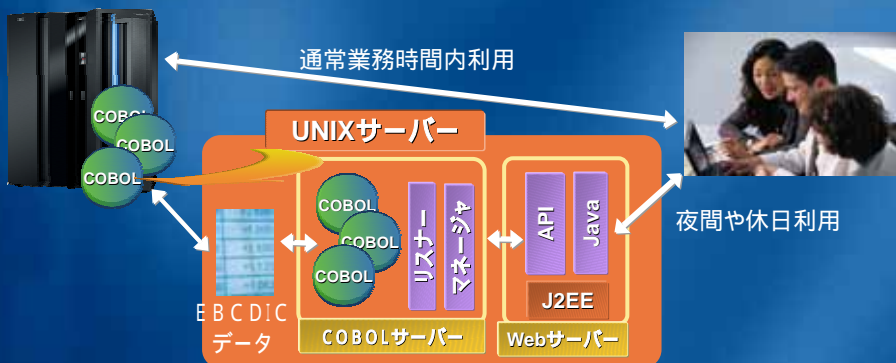


全体最適 個別要望

営業支援システム「AtlasNavi」 AIGスター生命、クリス

Solution

- メインフレームの処理をUNIXで引き継ぐためデータはEBCDIC
- 二重保守を避け、業務処理はCOBOLで共通化
- COBOLとJava連携のため混成チームで開発

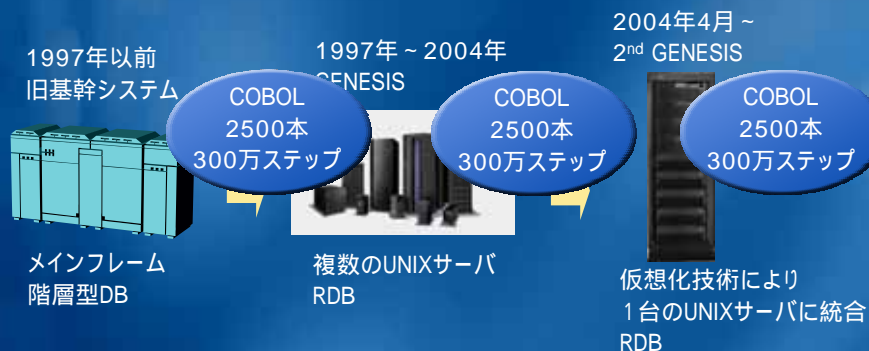


販売管理システム「GENESIS」 モスフードサービス、電通国際情報サービス

- Challenge
 - 基幹システムを刷新、画面系プログラムはJava採用
 - バッチプログラムをどうするか
 - JavaかC言語で書き直すか、COBOLの既存資産をそのまま生かすか
- Solution
 - 選ばれたのはCOBOL
 - 短い時間で安定的に高速稼動することが必須条件
 - 64ビット環境での動作が保証されていたことも、大きな選定要因
- Results
 - 昼間のバッチ処理は昼休み時間中におさまるようになり
 - 夜間に関しても10分程度となり、業務の大幅な効率化が実現

販売管理システム「GENESIS」

- ダウンサイジング、分散、サーバ統合の歴史
- COBOLプログラムは柔軟に変化に対応



今すぐできること

- 特集記事「SOA時代のCOBOL資産活用術」
<http://www-06.ibm.com/jp/software/websphere/solutions/>
- COBOL/SOA/XML連携セミナー
 - SOA導入のメリット、既存COBOL資産活用術を解説
 日時：2006年7月26日(水) 14:00～17:00(開場13:30)
 場所：日本アイ・ピー・エム ソフトウェア・コンピテンシー・センター
<http://www.microfocus.co.jp/events/>
- 定期セミナー
 - Windows .NET アプリケーション構築
 - Java環境でのCOBOLの活用技法
- カウンセリング
 - COBOLプログラムについての移行性診断
 - ソリューションプロバイダーの紹介

